



学校だより 10月号

石川小学校 学校教育目標
育てます。「石川魂」

令和5年9月29日
横浜市立石川小学校
校長 寺園 淳

満足すれば笑顔

校長 寺園 淳

暑さにも負けず元気に遊ぶ子どもたちの姿は、私たち教員にエネルギーを与えてくれます。勤務を終え、帰宅の途に就き遊歩道を下ります。そこから歩道地に入ると、草むらから虫の音が聞こえてきます。気温の高い日が続いていますが、秋は確実に訪れています。

創立150周年を記念して自然栽培委員会の児童がイベントを企画してくれました。それは「みらくるん ともりくろう」のイラスト大会でした。全校児童に呼びかけ、「夏のお花とみらくるん、もりくろう」をテーマに作品を募集しました。100点近くの作品が集まり、少人数教室の前に掲示されました。今回の大会はコンクール形式の為、全校のみんなで投票をし、テーマにふさわしい作品を選びました。表彰式ではグランプリ賞や学年賞が発表され、そのたびに大きな拍手が受賞者に送られていました。その時の子どもたちの顔には素敵な笑顔があふれていました。またこの大会を盛り上げるために、教師のアイデアが上手に生かされていたことに校長として「チーム石川」の強みを感じました。

さて、今年度の水泳学習の様子について私なりの振り返りをまとめてみました。今年も全ての学年の子どもと一緒にプールに入るなかで聞かれた子どもたちの感想の多くは、水泳学習を楽しんでいるというものでした。入門期に当たる低学年の水泳学習は「水遊び」として、水に慣れることや潜ったり浮いたりすることが中心となります。水中鬼ごっこや宝拾いに子どもが十分満足するまで取り組みました。そして少しずつハードルを上げる中で、必然的に様々な動きを身に付けていきました。1年生ではほぼ全員の子どもの水に慣れることができました。2年生では90%の子どもの水に潜って「宝物」(ゴムでできたブロック)を拾うことができました。これはかなり高い通過率だと考えます。また6年生の中には「ほとんど泳げなかったのに、最後の記録会では14m泳ぐことができました。」という嬉しい感想を伝えてくれた子もいました。このような良い結果が出たポイントは「子どもが満足するまで活動に浸る」ことです。私たち教師は、子どもが満足するまで取り組める学習や活動の在り方を研究していかなければならないことを改めて実感しました。

☆9月の学校便りで紹介した横浜子ども会議に参加した高木さんからのメッセージを紹介します。☆

今年の子ども会議では「つながる、広げる、いじめの未然防止の輪」というテーマで話し合いを進めてきました。皆さんのアンケートをもとに石川小学校、中村小学校、平楽中学校の意見を交換しました。その中で、SNSを使用している人がとても多いこと、いやな思いをしたことがある人が近くにいることがわかりました。また学年が上がるにつれて、いやな思いをしているのに大人に相談することができない人が増えてきていることもわかりました。3つの学校で話し合ったものを南区の学校の方々と発表しあい、「SNSを使用するときだけではなく、現実で多くコミュニケーションをとること」が大切だということになりました。

相手の顔を見て話すとともに解決することでも、つい便利なSNSを使用することがある人も多いと思います。直接コミュニケーションをとる機会を増やすことで、SNSでのチクチク言葉も減ると考えます。みなさんも、SNS内だけでなく現実の世界で、もっとたくさん友達と話し、SNSトラブル防止に繋げて、みんなが過ごしやすい環境をみんなで作っていきましょう！

平楽中学校生徒会長 高木 淳平